

1960年代、著名国際コンクールで次々に入賞を果たし世界進出 巨匠シゲティより継承した至芸と、気鋭のピアニストの技が融合



©篠原 栄治

ヴァイオリン 久保 陽子 Yoko Kubo, Violin

3歳より父の手ほどきを受け、その後、折田泉、村山信吉、J.イスナールおよび斎藤秀雄らに師事。1962年桐朋女子高等学校音楽科卒業、同年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。1963年よりフランス政府給費留学生としてパリに留学しR.ベネデッティ、J.カルヴェに師事。1966年マルセイユ音楽院ディプロマコースを卒業、同時に名誉市民のメダルを授与される。1964年パガニーニ国際コンクール、1965年ロン＝ティボー国際コンクールにて第2位。1967年からJ.シゲティに師事。その後クルチ国際コンクール第1位。ソリストとして世界的な演奏活動をする他、ピアニスト弘中孝と共に桐五重奏団、久保陽子トリオまたジャパン・ストリング・クワルテットを主宰するなど室内楽奏者としても活躍中。

これまでにCD『J.S.バッハ/無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータ全6曲』、『ブラームス/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全3曲』、『ベートーヴェン/ピアノ・トリオ第7番大公、ブラームス/ピアノ・トリオ第1番』、『パガニーニ:カプリース全24曲』をリリース、いずれも高い評価を得ている。

2011年3月まで東京音楽大学教授。近年は無伴奏作品演奏に積極的に取り組む他、将来性のある若手演奏家たちとのデュオ、アンサンブルシリーズを企画する等後進の育成にも力を注いでいる。



4歳の頃



18歳の頃 (チャイコフスキーコンクールにて)



ハチャトゥリアンに指導を受ける



ピアノ 黒岩 悠 Haruka Kuroiwa, Piano

東京都出身。桐朋学園音楽教室にて吉田文子氏に師事しピアノを始める。東京音楽大学付属高校にて弘中孝、宮崎和子両氏に師事。卒業後渡欧し、イタリアのイモラ国際ピアノアカデミーにて研鑽を積み卒業。F.スカラ、故L.バルマン、B.ペトルシャンスキー、L.マルガリウスに師事した他、S.ババヤン、イーヴォ・ポゴレリッチ氏より薫陶をうける。

大垣音楽祭最優秀賞新人賞、マルサラ国際コンクール第3位、パドヴァ国際コンクール第1位、他多数のコンクールで優勝、入賞を果たす。

これまでルガーノ音楽祭“マルタ・アルゲリッチプロジェクト”(2012、2016年)、ラ・フォル・ジュルネ・オウ・ジャポン、軽井沢八月祭、フォルガリア音楽祭、ブラハThurn-Taxis音楽祭、ストレーザマッジョレ湖音楽祭、ギスランディ国際音楽祭、イモラ音楽祭、Mozart-Schubert音楽祭、チヴィタ音楽祭他多数の音楽祭に招かれ演奏を行った他、ルーマニア国立バカウシンフォニー、モルダヴィア共和国ナショナル管、ザグレブ弦楽四重奏団、ロヴェレート室内オーケストラ、ブランデンブルク響、ベルリンニュープロイセンフィル、セントラル愛知響などと共演。

その演奏は、“黒岩は鍵盤の王としてその必要とされる全てで魅了した”、“驚嘆すべき完全さ”とドイツ国内紙上でも高く評価を得ている他、アメリカ、イタリアでの演奏はテレビでも放映され好評を博した。国内外でソリスト及び室内楽奏者として演奏を続ける一方、コンクール審査、レクチャー講師なども務め後進の育成にも力を注いでいる。

2014年1stアルバムをリリース。2016年秋2ndアルバムをリリース。

オフィシャルサイト <http://www.haruka-kuroiwa.com>

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする
宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

テレビ塔、NHK名古屋放送局、愛知芸術文化センター、東海テレビ、中部電力、マクドナルド、宗次ホール、東急ホテル、至高社

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)